

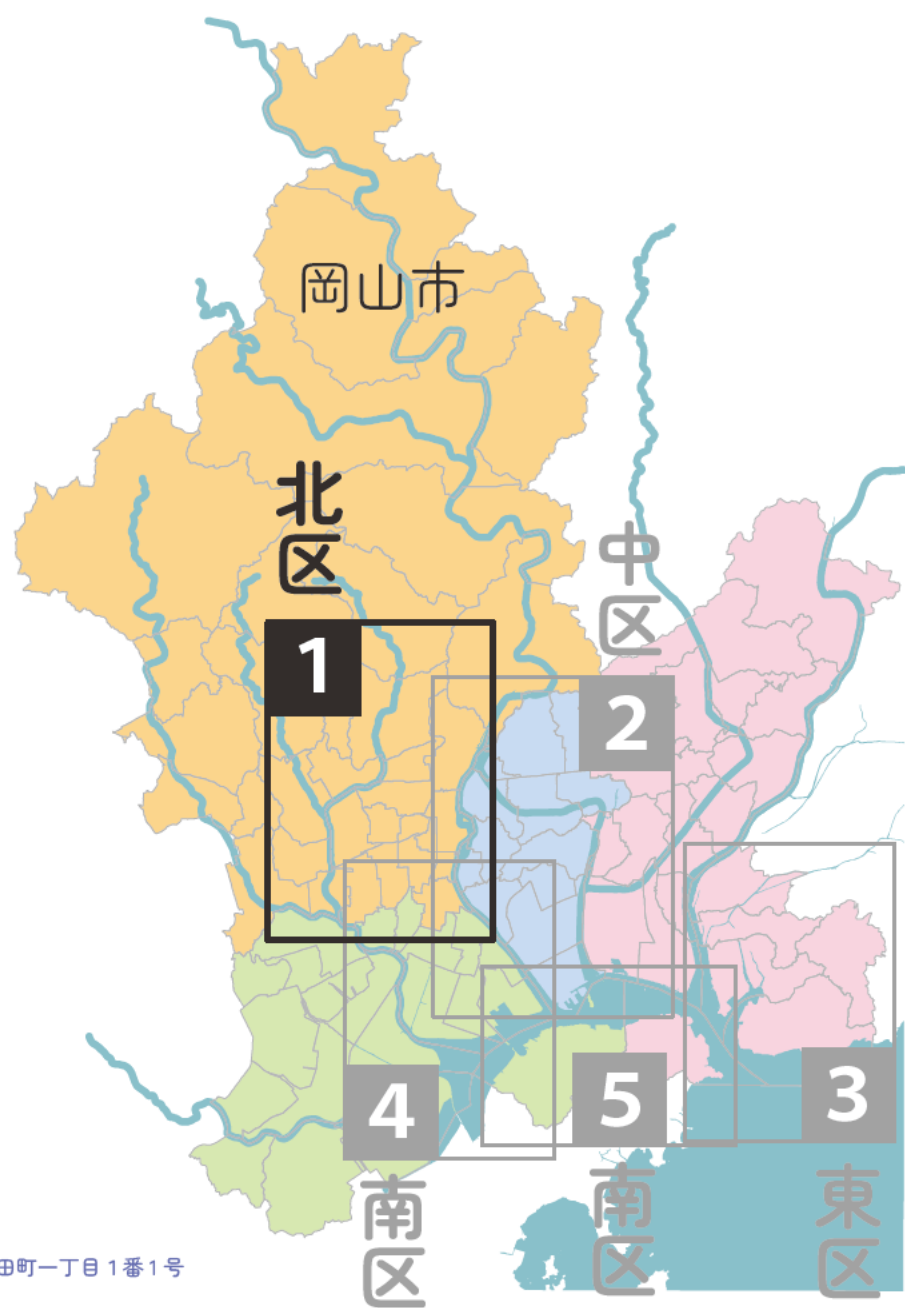
高潮 ハザードマップ



保存版
令和5年3月
発行

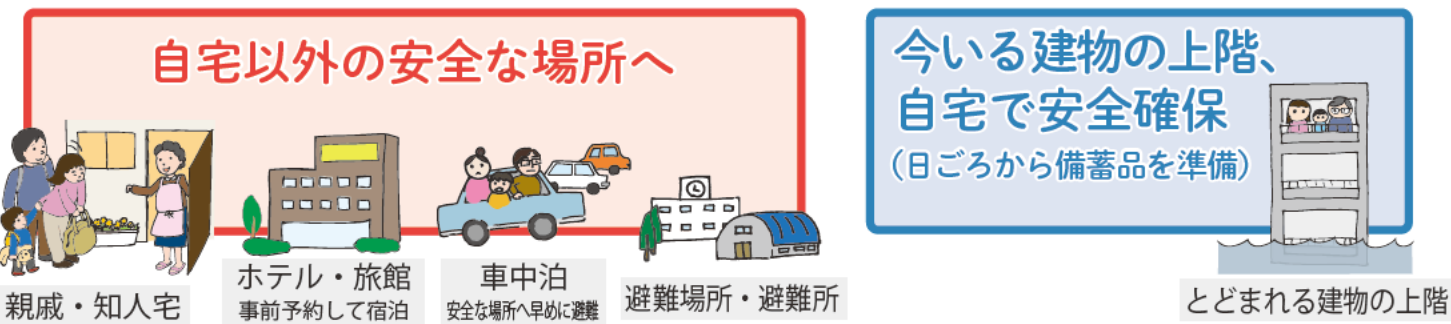
北区 1

石井・伊島・大野・大元・岡山中央・
岡南・鹿田・清輝・津島・西・平津・
三門・御南・御野・横井

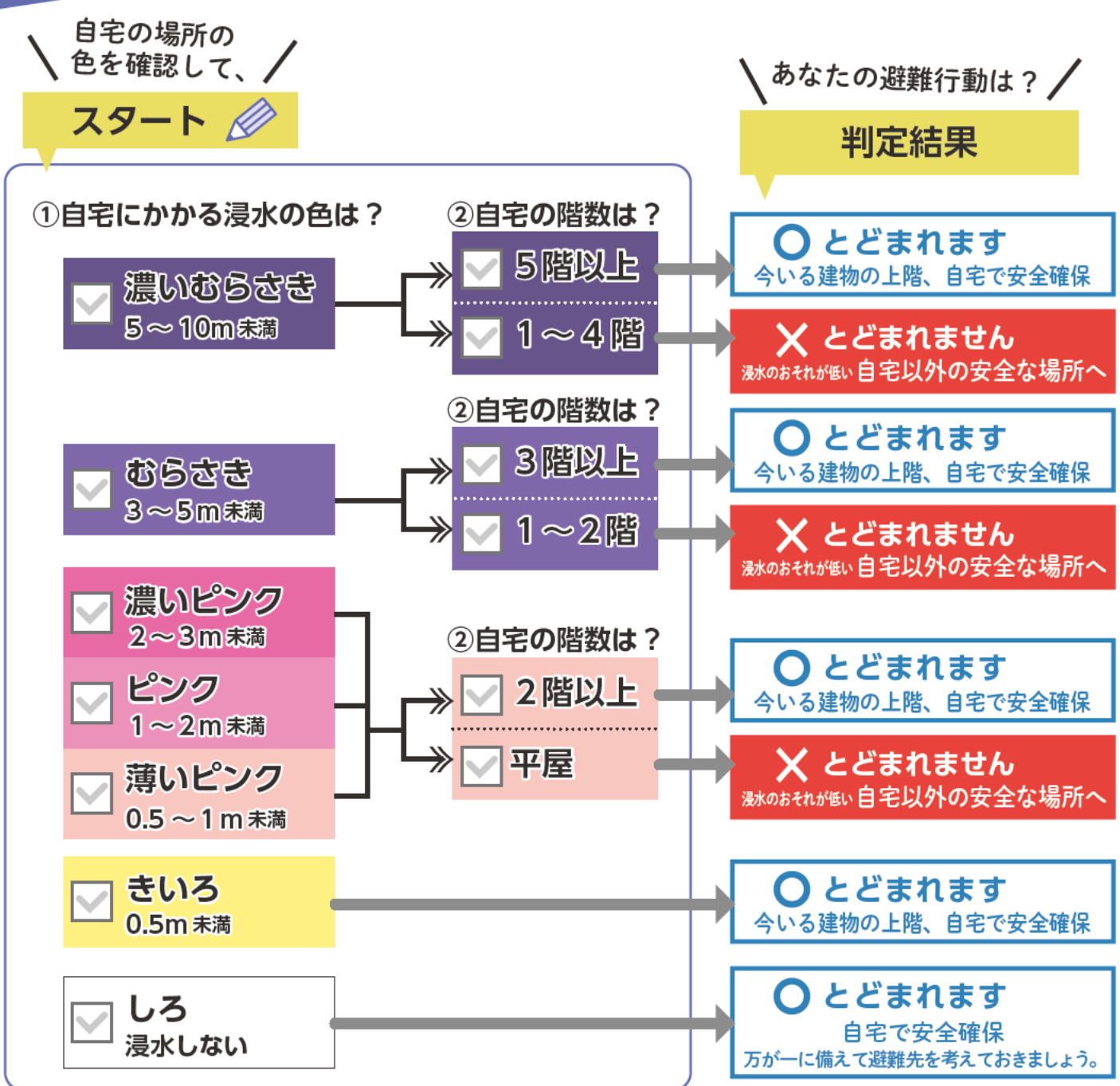


3 高潮災害時の避難先

避難先は、各自で浸水のおそれ低い地域の知人・親戚の家や宿泊施設などを探しておきましょう。
自宅にとどまれる場合は、備蓄品等の準備をして、在宅避難しましょう。



裏面の
ハザードマップをみて 自宅の状況から必要な避難行動を判定しましょう



1 このハザードマップは、 岡山県沿岸高潮浸水想定区域図 (平成16年台風第16号の規模に基づく高潮モデル) を基に作成しています。

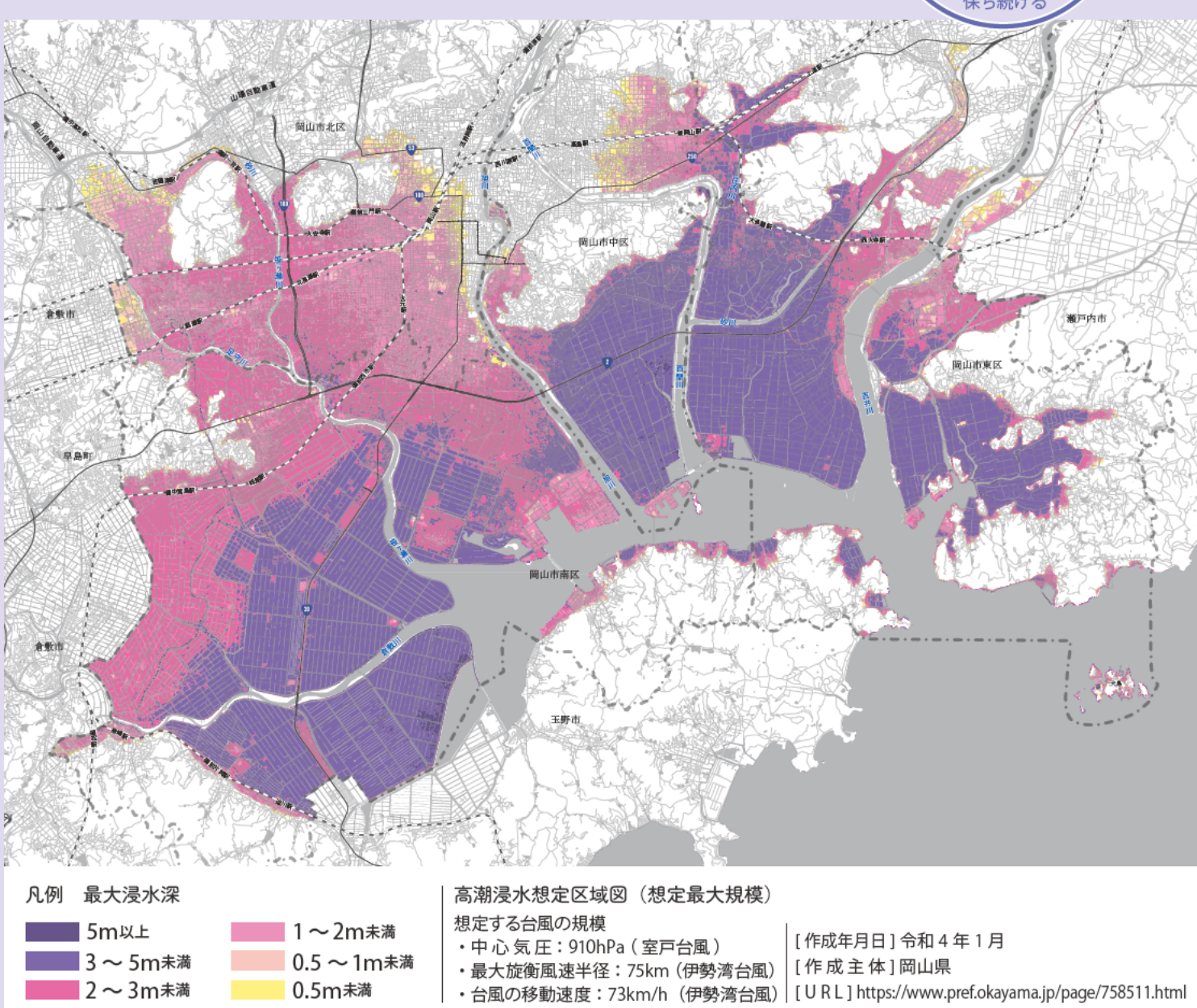
岡山県沿岸高潮浸水想定区域図
(平成16年台風第16号の規模に基づく高潮モデル)

宇野港(岡山県宇野市)や高松港で観測史上*最大の潮位を観測した台風の規模を
参考に想定した高潮浸水想定区域図です。 ※観測開始(宇野港:1923年、高松港:1916年)

台風の
中心気圧
965hPa
平成16年台風第16号
の規模に基づく
高潮モデル

(参考) 岡山県沿岸高潮浸水想定区域図(想定最大規模)

下の図は、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合を示した
高潮浸水想定区域図です。



凡例 最大浸水深
5m以上
3～5m未満
2～3m未満
1～2m未満
0.5～1m未満
0.5m未満

高潮浸水想定区域図(想定最大規模)
想定する台風の規模
・中心気圧:910hPa(室戸台風)
・最大旋回風速半径:75km(伊勢湾台風)
・台風の移動速度:73km/h(伊勢湾台風)

【作成年月日】令和4年1月
【作成主体】岡山県
【URL】https://www.pref.okayama.jp/page/758511.html

2 高潮発生メカニズム

台風や発達した低気圧が接近すると海水面が上昇し、海沿いに押し寄せて浸水することがあります。
これを高潮といいます。

種々の要因により高潮の規模は大きく変動します

※ 台風は夏から秋ごろにかけて日本に接近します。
その時期は、最新の台風情報や市から発令される避難情報に注意してください。

高潮は以下の3つの要因で発生します

①気圧低下による海面の上昇(吸い上げ)
②風で押し寄せる波(吹き寄せ)
③満潮時間との重なり

台風による強い風で海水が海岸に吹き寄せられて、海面が上昇します。
押し寄せた波が、沖に戻れずに海岸付近にたまるようになり、海面が上昇します。

③満潮時間との重なり
夏から秋にかけては、一年のうちに潮位が最も高い時期です。
台風の接近時には満潮時間にも注意しましょう。

潮位と浸水深は違います

潮位は、浸水深とは異なります。潮位は沖合での海拔(標高)ゼロメートルからの高さで、
浸水深とは地面から浸水面への高さです。



浸水想定区域では
台風時に想定される最大の
浸水深を示しています。

わが家の防災メモ

家族の避難場所

家族の集合場所

(避難場所で見えなかった場合)

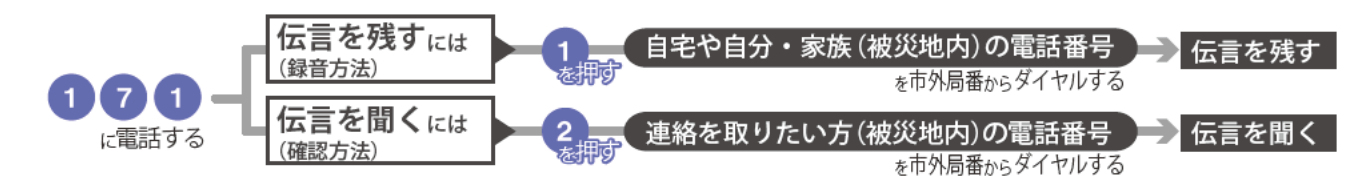
家族の連絡先

家族の名前	生年月日	携帯電話番号	血液型	会社・学校などの電話番号

災害伝言ダイヤルの利用方法

災害用伝言ダイヤル 171

災害時には電話がつながりにくくなります。「災害用伝言ダイヤル171」に電話を
かけると、伝言の録音や再生ができます。



災害用伝言板

NTT及び携帯電話会社各社が提供する「災害用伝言板」は、災害時インターネット
接続が可能な場合に利用できます。

Web 171 (NTT)
URL https://www.web171.jp
NTT docomo
URL http://dengon.docomo.ne.jp

ソフトバンク
URL http://dengon.softbank.ne.jp
au (KDDI)
URL https://dengon.ezweb.ne.jp

※災害用伝言板は、大きな災害が発生したときに提供が開始されます。サービスの詳細については、NTT及び携帯電話会社各社の説明を参照してください。

緊急時の連絡先 ※災害時のみ開設

岡山市災害警戒(対策)本部※	086-803-1600
北区本部※	086-803-1850
中区本部※	086-901-1643
東区本部	086-944-5100
南区本部	086-902-3500

避難情報・防災情報の入手先

スマートフォン、携帯電話、テレビ、インターネットなどから避難情報、防災情報を入手する方法を知っておきましょう。

テレビ	ラジオ	岡山市防災メール
①NHK総合にチャンネルをあわせて「d」ボタンを押す ②防災・生活情報を選択する	岡山シティ FM : 79.0MHz (レディオMOMO) への割り込み放送を実施します	①右のQRコードを読み取る ②空メールを送信する ③サイトに従い登録する
避難所の混雑状況 発信します。 右のQRコードを読み取ってください。	Twitter : @okayama_city LINE : 岡山市公式LINE Facebook : 桃太郎のまち	岡山市ホームページ 緊急速報メール、防災行政無線、広報車や消防団による広報など

非常持出品を備えよう

非常持出品は、災害の危険が迫り自宅から避難するときに最初に持ち出すものです。
非常持出品などにまとめ、すぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう。

非常持出品リスト(例)

☐ 非常食 ☐ ペットボトルの水(500mlサイズ) ☐ 通帳・免許証・健康保険証・ ☐ お薬手帳など ☐ 印鑑(通帳とは別々に保管) ☐ 現金(小銭も含めて) ☐ 家・車の鍵 ☐ 筆記用具(油性ペン・ノート)	☐ LEDヘッドライト・懐中電灯・乾電池 ☐ 携帯電話の充電器・モバイルバッテリー ☐ FM・AMラジオ ☐ 眼鏡・コンタクトレンズ (歯みがき、洗顔セット、タオルなど) ☐ ウエットティッシュ・除菌シート ☐ 医薬品 (薬、消毒液、ばんそうこうなど)	☐ マスク ☐ 体温計 ☐ 使い捨てカイロ ☐ 防寒保温シート ☐ ヘルメット・ホイッスル ☐ 防寒着・雨カッパ ☐ 軍手・手袋 ☐ アイマスク・耳栓
--	---	--

4 高潮災害時のマイ・タイムライン

岡山市では、台風情報や気象情報などをもとに、避難情報を発令します。情報を受け取ったら、みなさんの状況に合わせたタイミングで早めに避難しましょう。

災害時にとるべき行動を考え、マイ・タイムラインに記入しましょう

警戒レベル	警戒レベル 1・2 避難行動を確認	警戒レベル 3 危険な場所から高齢者等は避難！	警戒レベル 4 危険な場所から全員避難！	警戒レベル 5 命の危険 直ちに安全確保
警戒レベル	気象庁が発表 避難に備える たとえば・・・ ○ハザードマップで避難経路を再確認 ○周辺の雨や危険度へ注意	岡山市が発令 高齢者等避難 高齢者等(避難に時間を要する人)以外の方も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。 たとえば・・・ ○親戚・知人宅など、市内に限らずより安全な場所へ ○市が開設した避難場所・避難所へ ○避難指示に備えて非常持出品を再確認 ○潮位情報に注意	岡山市が発令 避難指示 警戒レベル5を待たずに、必ず危険な場所から避難！ たとえば・・・ ○親戚・知人宅など、市内に限らずより安全な場所へ ○市が開設した避難場所・避難所へ ⚡ 避難の途中で危険を感じたら、近くの安全な場所へ たとえば・・・ ○高くて丈夫な建物や高い場所へ	岡山市が発令 緊急安全確保 ⚡ 浸水の中を避難するのはとても危険です。 たとえば・・・ ○今いる建物の高いところ、斜面から離れた部屋へ
気象情報	高潮注意報 警報に切り替える可能性に 覆されたいなもの	警報に切り替える可能性が高い高潮注意報 (警戒レベル3相当)	高潮警報・高潮特別警報 (警戒レベル4相当)	

※災害状況の進展により、必ずしもこの順番で情報が出るとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が重要です。

マイ・タイムライン 記入欄

- テレビ、インターネットなどで今後の台風を調べ始める
- 家の周りに風で飛ばされるようなものがないか確認
- 避難するときにもっていくものを準備
- 携帯電話を充電
- ハザードマップで避難場所や避難の方法を再確認
- 携帯メールなどで避難情報を受信
- 避難しやすい服装に着替える
- 避難にかかる方(高齢者、障がいのある方等)は避難開始
- 車での避難はこの時点で広い駐車場のある安全な場所へ

- 避難指示を受信
- 危険な場所にいる方は全員避難開始
- 徒歩での避難が原則

すでに災害が
発生している状況

避難情報の発令前
にみなさんの身の回りで
災害が起こることもありま
す。そのため、みずから各機
関から発表される災害情報や
周りの状況に注意し、危険を
感じたらすぐに命を守る行
動をとりましょう。

「岡山県沿岸高潮浸水想定区域図」			
想定最大規模※1		平成16年台風第16号(T0416)モデル※2	
想定する台風	条件設定	想定する台風	条件設定
中心気圧 最大旋回風速半径 移動速度	室戸台風クラス 伊勢湾台風クラス 伊勢湾台風クラス 75km 73km/h	中心気圧 最大旋回風速半径 移動速度	平成16年台風第16号 の中心気圧と移動速度 の観測データ※3
河川流量	考慮する 対象河川:吉井川、旭川、百間川、高梁川、香ヶ瀬川、倉敷川	河川流量	考慮しない
潮位	期望平均満潮位+異常潮位	潮位	平成16年台風第16号観測時の天文潮位+異常潮位
各施設	シミュレーションにおける決壊条件	各施設	シミュレーションにおける決壊条件
海岸の堤防	・潮位が設計高潮位を超えた段階 ・波のうちあげ高が堤防天端高を超えた段階 ・越波流量が許容値(0.01m ³ /s/m)を超えた段階	海岸の堤防	・潮位が天端高を超えた段階 ・越波流量が許容値(0.005m ³ /s/m)を超えた段階
河川の堤防	高潮の影響区域で計画高水位等に達した段階	河川の堤防	決壊なし(想定していない)
水門・排水施設	周辺の堤防等が決壊条件を超えた段階	水門・排水施設	周辺の堤防等が決壊条件を超えた段階

※1 想定し得る最大規模の高潮を対象とした岡山県沿岸高潮浸水想定区域図(令和4年1月岡山県公報)による。
※2 想定最大規模の条件を比較的に発生確率が最も小さい(最も小さい)場合に設定(上記は参考)したシミュレーション結果による。なお、地形データ、高潮の観測データ等※3と同等のデータを用いている。
※3 数値データの資料による。【参考】平成16年8月30日17時過ぎの山口県防衛庁行営において(中心気圧965hPa)